

# つくばの豊かな歴史と

## 伝 統 芸 能 の 伝 承



科学の街として発展を遂げている研究学園都市のつくば市。その一方で、日本史において重要な拠点である筑波山を持つ、歴史深い街でもあります。そんな二面性を持つつくば市を、伝統芸能を通じて伝え続けている「筑波山ガマ口上保存会」。400年以上もの間、継承されている「筑波山ガマの油売り口上」の歴史や魅力について第21代名人・大久保勝弘さんにお話を伺いました。

筑波山ガマ口上保存会  
第21代名人 **大久保 勝弘**さん

元つくば市議会議員。筑波山ガマ口上保存会会長。第18代名人から誘われて、保存会に入会。現在も名人として各地で活動しながら、後身の育成に力を注いでいる。



### 人々を魅了する口上 後世に継承する保存会を発足

「ガマの油」とは、元々は江戸時代に傷薬として使われていた軟膏のこと。大阪の陣で徳川勢として従軍していた筑波山中禅寺の住職・光普上人が負傷した兵士に塗ったところ、出血や痛みが治まり大評判となったことから全国に広まったと言われています。それから100年後、つくば市

（旧永井村）出身の永井兵助が筑波山ガマの油売り口上を考案し、江戸で実演販売したところ、大成功を収めて財を成したという逸話が残されています。

初代の永井兵助から代々の名人が任命され、1999年、第18代名人が90歳になったのを機に、観光協会関係者や地元有志がこの口上を保存・継承するために「筑波山ガマ口上保存会」を設立しました。現在、会員は全国各地に約90名。

### 地元の子ども口上師を育成 豊かな歴史と芸能を伝える

伝統芸能の継承には、地元の子どもの育成が欠かせないもの。保存会では県立筑波高校の生徒を対象に、筑波山ガマの油売り口上の講座を実施。また、地元の女子小中学生がメンバーの「おくのガマガール」を結成し、地域のお祭りやイベントで口上を披露。その一生懸命で勇ましい姿が評判となり、新たな形で口上が次世代へと受け継がれています。

「大きな声を出すので、健康な体づくりの一つにもなりますし、お客様の前で披露する度胸もつきますよ」と第21代名人の大久保勝弘さんは笑顔で語ります。

コロナ禍では他の伝統芸能のように人前での活動休止となる事態に。しかし、会員は各自自宅で鍛錬を積み重ね、しばらく休止していた筑波山神社での筑波山ガマの油売り口上の実演は、満を持して今年4月から毎週土日祝日に再開。今では会員らによって、筑波山神社だけでなく各地のイベント等で口上が披露されています。

筑波山ガマの油売り口上を通じて、つくば市の豊かな歴史や伝統芸能に今一度、思いを馳せてみてはいかがでしょうか？



▲「さあさあ、お立ちあい！」と活力あふれる口上が響く様子

筑波山神社随神門広場で口上を見ることができます！  
土・日・祝日/10:00～15:00  
※雨天中止

僕たちに会いに来てネロ～

### おくのガマガールとは

東日本大震災後、地元や人とのつながりの大切さを子ども達に伝えるため、保存会の綾部さんの娘みよさんらが「おくのガマガール」を結成。はじめは、女子生徒5名のチームでしたが、その後、ガマガールの口上を見て、「自分も上手になりたい」と子ども達が集まり、結成から11年が経過。現在は、つくば市・牛久市を中心にイベントに参加しており、東京国立劇場から演技の依頼があるほど。いきいき茨城ゆめ国体アトラクションにも参加したこともあります。

おくのガマガールの口上を見ていただいた方には、カエルの折り紙を記念にお渡しするなど、ガマガールが主体性を持って活動しています。コロナ禍で現在活動は休止中ですが、今後の活躍にも期待大です！

練習場所 小坂団地区民会館 時間 毎週金曜 18:00～20:00 ※会費不要、送迎は保護者をお願いしています



●お問合せ●  
筑波山ガマ口上保存会 事務局  
TEL：029-874-8097

HPは  
コチラ



### 日本の伝統文化が目白押し！ 筑波山神社名物のイベントに

約16分の口上には、様々な見所があります。着物・はちまき・刀・たすき・扇子・紙吹雪などの、日本の伝統文化の要素。小気味良いテンポ

評を博した筑波山ガマの油売り口上は、保存会の尽力により、2013年にはつくば市認定地域無形民俗文化財の第一号として認定されました。

### ガマの油



筑波山名物ガマの油は筑波山の定番土産として、現在も筑波山参道の各店で販売中。スキンケアクリームとして肌荒れや保湿用に愛用している人も。

